



シラバス

授業時間割

休講・補講

教学事務室サイト

シラバス検索>>検索結果>シラバス照会

戻る

印刷

画面下

授業科目名	芸術平和学/芸術文化論：クラス01		
配当年次	1	単位数	2.0
主担当教員	吉田 正高		
副担当教員	宮島 達男		
開講学期	前期		
曜日時限	火曜3限	3b時限	
教室	本館201講義室		
履修条件	■聴講生・科目等履修生 ■単位互換生の対象科目 ■抽選科目：定員300名		
科目の目的・到達目標	<p>◇想像力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解：20% ・思考力：20% ・課題発見力：10% <p>◇意志</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理性：10% <p>◇社会性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力：20% ・自己管理：10% ・人間形成力：10% <p>・我が大学の建学の理念について、その意味を理解し、他者に伝えることができる。</p> <p>・芸術活動と平和活動との関係について、具体的な事例を挙げ、説明することができる。</p> <p>・現実社会との関係の中で、自己の位置づけや進むべき方向性について示すことができる。</p>		
授業の概要	<p>・「平和と芸術」「戦争と芸術」、さらには社会と「芸術を学ぶ自己」との関係性などを主要なテーマとし、大学の内外より招聘する特別講師が、オムニバス形式で講義を実施する。</p> <p>・講義各回における目的・趣旨を十分に理解した上で、科目の到達目標に準拠した課題レポートを提出する。</p>		
授業計画	<p>【講義内容と担当講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス(吉田正高) →暴力についてのアンケート実施(最後の15分程度)提出 ・宮島達男「芸術の創造力/想像力 大学の理念と創造力、ASKサミットについて」 ・Philippe Chehere「演劇と平和行動」 ・高橋良輔「アニメーションにみる戦争と平和」 ・田中勝「広島と平和」 ・安發和彰「画家と平和行動 ピカソ(ゲルニカ)」 ・宮本武典「地域社会、平和行動、ボランティア」 ・坂東慶一「ナチのプロパガンダ・ポスターとデザイナー」 ・奥本京子「紛争を解決するためのワークショップ」 <p>ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート試験「芸術と平和」(吉田正高) →初回のアンケートを返却。今の意識の変化を書く。 <p>※講師およびスケジュールの詳細は、初回ガイダンス時に提示する。</p>		
評価方法	<p>授業参加：25%(欠席は1回につき5%減)</p> <p>ミニレポート提出：10%×3回=30%</p> <p>最終レポート試験：45%</p> <p>計100%</p>		
テキスト・参考文献等	○「暴力についてのセビリア声明」		
授業外の学習活動			
その他特記事項			
参考URL			

印刷

画面下